聴き取れますか?

あなたの地域の

Mihashi Kazushi

奈良市議会議員

照)、整備率は低過ぎる水

せることができた。

防災行政無

内の市町村は整備率が低いた。を国的に見ても、奈良県が、奈良市はこれらの要請が、奈良市はこれらの要請が、奈良市はこれらの要請が、奈良市はこれらの要請が、奈良市はこれらの要請が、奈良市はこれらの要請が、奈良市は



警報システム(J-アラー 報や避難情報、全国政から発信される災 過ぎる整備率

議会で徹底追及

防災情報 の

・ものである。当時から現在 平成26年度に作成された に配布しているが、これは ブック」という冊子を市民 更新を

整備していく」という旨のと計画を立て、数年以内に計画を立て、数年以内にに計画を立て、数年以内にに計画を立て、数年以内にに計画をない」としていた奈利の追加整備の 市民から選挙で選ばれる政治家は、華やかな観心を抱く傾向にあるが、関心を抱く傾向にあるが、関心を抱く傾向にあるが、関心を抱く傾向にあるが、関心を抱く傾向にあるが、関心を抱く傾向にあるが、関心を見に、防災や教育への優先的な予算配分を求め、一、を上競技場への大型映像生成、防災や教育への優生のようない。 業費の予算原案を修正

の地域)における整備の必良市内では概ね県庁以西備とされ、特に都市部(奈体保護のための重要な設体保護のための重要な設を担い、市民の生命及び身を担い、市民の生命及び身

避難所の指定標識の取外し作業

著しく、二次利用が可能行われている。特に、防災電子データを一般に公開地方公共団体が保有する

たいでは各機関によって新たい。 た険が及ぶとされている施 たって、奈良市地域防災計 たので耐震性がなく人命に で耐震性がなく人命に で耐震性がなく人のに でが返ぶの変更などが行 ではの変更などが行 ではの変更などが行 案もあり、報道でも連日解除の措置がとられた事 現に寄与するものである。 環に寄与するものである。 特報の整理に繋がり、安 などによるさらなる防災 がは、地域住民や事業者

を行い、市民に対して効果は、防災情報全般についてな、防災情報全般についてが、時間では、防災情報を設について、 に至った事項もある。についても指摘し、見 内容に関する重大 的な方法で情報発信 のその他 人な誤り 直

危険区域の電子データの活用事例

奈良市議会議員

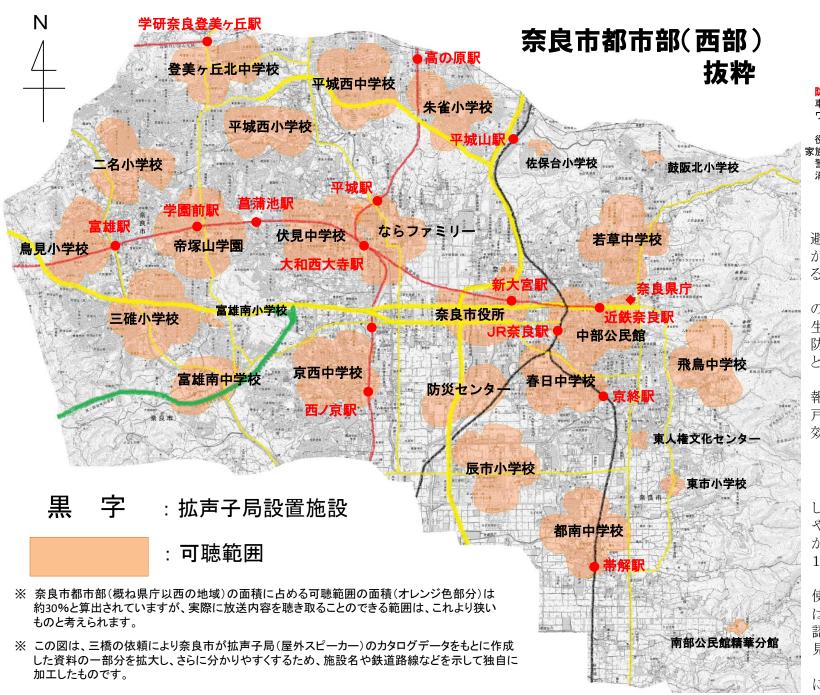
〈Vol.2〉 平成30年夏号

奈良市議会議員(総務委員会)(政党・会派ともに無所属)、奈良市監査委員 昭和63年(1988年)12月22日(29歳)

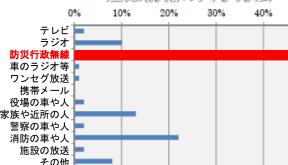
奈良県立奈良高等学校 卒業 明治大学政治経済学部政治学科 卒業 【資格等】 平成23年行政書士試験合格 他 株式会社南都銀行総合職 奈良県庁行政職(災害対策、行政広報、税務等を担当)

〒631-0842 奈良市菅原町230番地の4シャ E-mail:sanwakai.km@gmail.com

奈良市 同報系防災行政無線 可聴範囲



過去の大規模災害における 避難情報の入手方法



上表は、過去の大規模災害において人々が 避難情報をどのように入手したかについて、国 が公表した調査結果である。災害の種別にもよ るが、重要な参考資料の一つである。

ラジオを持ち歩くことは稀であるし、携帯電話の充電も長時間は持たない。大規模災害の発生時やその後の避難生活の段階においても、防災行政無線が有効な情報入手手段であることは間違いない。

防災行政無線の整備後は、これを補完する情報伝達手段として、危険区域付近においては、 戸別受信機の普及や文字情報板の設置等の有効な施策の実施を推進していきたい。

可聴範囲の実態

左図は、カタログデータをもとに可聴範囲を示したものであるが、実際に市民の皆さまの自宅や職場などで音声を聴き取ることができるかどうか確認していただきたい。(試験放送は毎月第1月曜日17時に実施されている。)

現時点では、地震や大雨で防災行政無線が 使用される度に、市役所や市議会議員の元に は「音声内容が聴き取れない」「音声内容を確 認している間に被災してしまう」などといった意 見や苦情が寄せられているのが実情である。

災害が発生してからでは手遅れである。充実に向けて、早期の整備を求めていきたい。